

県水協たより



第43号
令和5年1月31日

発行／公益社団法人 山形県水質保全協会事務局
東根市大字野田695番地の8 TEL 0237-48-2469 FAX 0237-48-2693



新年のごあいさつ

公益社団法人 山形県水質保全協会 会長 片桐 健悦

新しい年にあたり一言挨拶を申し上げます。

会員の皆様、県並びに市町村等行政関係機関の皆様には、健やかに希望に満ちた令和5年癸（みずのと）卯年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より当協会の事業につきましても、格別のご理解とご協力を賜り、

厚くお礼申し上げます。

はじめに、令和4年度秋の叙勲におきまして、当協会の前会長であります遠藤信幸氏が旭日双光章を受章されました。我々業界にとりましても誇りであり喜びでもあります。長年のご努力に敬意を表するとともに、心よりお祝い申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症は、インフルエンザとの同時流行が懸念されており、引き続き警戒が続いている状況です。会員の皆様におかれましては、3年にわたるコロナ禍の中、私たちの生活に重要な役割を果たす一般廃棄物の収集・運搬業務、浄化槽維持管理業務等、地域に密着した業務に従事され、業務が滞ることなく山形県内の環境衛生の維持に尽力していただいていることに改めて感謝申し上げます。新型コロナは5月には2類から5類と分類変更される見通しですが、今後も感染防止に十分な注意を払いつつ、それぞれの地域において業務の継続を責務と捉えていただきますとともに、円滑に事業を進めていただきますようお願いいたします。

本年度の協会事業についてですが、市町村に対する浄化槽台帳管理システム事業、2年目を迎えた浄化槽管理士指定研修会事業及び浄化槽法定検査におけるBOD水質基準値の変更など、多くの課題に取り組んでまいりました。これらは、関係者の皆様のご支援とご協力により、ほぼ達成でき得たものと感謝申し上げます。

一方で、県内の浄化槽を取り巻く状況を見ますと、老朽化が進んだことによる不適正浄化槽の増加、固定化した未受検者への対策、過疎化による空き家増加に伴う浄化槽の休止届出に関する対策等まだまだ課題がございます。

また、当協会は、これまでの事業にとらわれず、新規事業について昨年末から検討会を立ち上げ進めているところです。まだ、具体的な事業まではたどり着けていませんが、協会の新たな収入として見込めるものを模索していきたいと考えております。

今後も浄化槽法定検査の指定検査機関としての責任と協会設立の趣旨を忘れず、さらなる受検率向上を目指すとともに各種の課題に取り組んで参りますので、引き続きご指導、ご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、癸卯は「これまでの努力が花開き、実り始めること」と言われており、皆様にとりましても、縁起の良い年になりますよう祈念申し上げ、新年の挨拶とします。



新年のごあいさつ

山形県知事 吉村 美栄子

明けましておめでとうございます。

公益社団法人山形県水質保全協会並びに会員の皆様には、健やかに新しい年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が本県で確認されて以降、実に3年近くが経過しようとしておりますが、この間、貴協会におかれましては、様々な工夫をしていただきながら、浄化槽に関わる検査や維持管理を通して社会基盤をお支えいただき、また、水を通した環境教育にも御尽力いただき、改めて心から感謝申し上げる次第です。

さて、本県は、秀麗な山々や全国一の面積を誇るブナの天然林、母なる川「最上川」、日本一の数を誇る滝など、自然豊かな緑の郷であり、その緑が育む清らかな水に恵まれた郷でもあります。この清らかな水は、県民に安らぎをもたらすとともに心のよりどころになっており、本県のかげがえのない資産であり魅力でもあります。

このかけがえのない水環境を保全し、後世に引き継いでいくためには、浄化槽の適正な管理による排水の水質維持が大変重要です。昨年4月から、BODの浄化槽法定検査の新たな判定基準を適用したところであり、県としましては、市町村と連携し、浄化槽管理者等に対する指導に力を入れてまいりますので、皆様におかれましても、周知に御協力いただきますようお願いいたします。

また、貴協会と本県とは、災害時応援協力が係る協定を締結しており、これまでも、被災地域における浄化槽の一斉点検を行っていただくなど、多大なる御貢献をいただいているところです。昨年8月に発生した豪雨災害時には市町村からの協定に基づく応援要請はありませんでしたが、近年、県内において毎年のように豪雨・地震等の災害が発生しており、貴協会に期待される役割は、より一層重要性を増しております。災害が発生しないことが最も望ましいことではありますが、今後も御協力を賜りますようお願いいたします。

結びになりますが、令和5年が皆様にとりまして、健やかで喜びと希望に満ち溢れた素晴らしい一年となりますよう御祈念申し上げまして、新年のあいさつといたします。



水大気 YouTube
二次元コード



令和4年度 浄化槽管理士指定研修会

令和4年10月24日(月) 天童市山形県総合運動公園大会議室にて、令和4年度浄化槽管理士指定研修会を開催しました。

この研修会は、令和2年施行の改正浄化槽法により「浄化槽管理士に対する研修の機会の確保」が規定されたことに伴い、新たな制度や複雑化する点検技術について十分な知識を習得していただくため、当協会が県から指定を受けて昨年度から開催しているものです。なお、当日は令和4年度浄化槽・水処理技術研修会も併せて開催しました。

前年度に続き浄化槽管理士指定研修会においてはリモートによる受講も可能とし、当日の参加者は、対象の浄化槽管理士および浄化槽保守点検業者の実務担当者、県・市町村職員担当者など計83名となりました。

研修会では、山形県の浄化槽行政に関する施策や、浄化槽の型式ごとの特徴、トラブルへの改善事例などについて、講師の方々にわかりやすく講演いただきました。当協会からは、法定検査結果の不適正内容やBOD超過の原因、不具合のある浄化槽の改善方法について情報提供を行いました。

浄化槽の適切な維持管理の必要性を改めて感じる研修内容となり、メモをとり熱心に聞き入る参加者の姿が見られました。

なお、研修会終了後には浄化槽管理士へ研修修了証を交付いたしました。

講演内容	講師
「浄化槽行政の動向及び山形県における浄化槽情報」	山形県環境エネルギー部水大気環境課 主事 黒坂美奈 氏
「浄化槽法第11条検査から～所見内容の検証～」	公益社団法人 山形県水質保全協会 (情報提供)
「浄化槽の構造と機能」 「浄化槽の保守点検と清掃」	全国浄化槽推進市町村協議会 事務局長 久川和彦 氏



片桐会長による主催者挨拶



県水大気環境課齊藤課長補佐による挨拶



黒坂主事による講演の様子



当協会からの情報提供の様子



久川事務局長による講演の様子



会場の様子

(一社)日本環境保全協会 北海道・東北ブロック協議会第28回総会

9月8日(木)に一般社団法人日本環境保全協会 北海道・東北ブロック協議会第28回総会が開催されました。新型コロナウイルス感染症が拡大したことから青森県での開催を見合わせ、Web会議による総会を行いました。

坂下事務局長(一社)北海道環境保全協会)の進行により16時に始まり、鈴木副会長(公社)宮城県生活環境事業協会)の挨拶により開会いたしました。

最初に、原田協議会会長(一社)北海道環境保全協会)からは、「3年ぶりにお会いできるのを楽しみにしておりましたが、新型コロナウイルスの第7波の影響を受け、会員企業においても感染が広がっています。まだまだ、日々コロナウイルスとの戦いが続いており、日常の業務に影響がでないことを望んでいます。」と挨拶がありました。

規定により原田協議会会長が議長として審議に入り、下記の議案については原案どおり全て承認されました。

第1号議案 令和3年度事業報告及び収支決算について

第2号議案 令和4年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

引き続き、原田会長から一般廃棄物処理業の現状と取り巻く環境についていくつか話題が提供され、人口減少に伴う人材の確保・育成など課題はあるものの、情報交換を行うとともに北海道・東北地域の協力体制を今後も進めていくことを確認いたしました。

片桐副会長(公社)山形県水質保全協会)の挨拶により総会を閉会いたしました。



リモートによる総会の様子

令和4年度 第3回理事会

第3回理事会を10月28日(金)午前10時30分から、協会会議室にて開催しました。

事務局による開会の後、片桐会長が挨拶を行い議事に入り、上半期の事業報告及び収支状況について事務局から説明を行いました。また、片桐会長から、浄化槽管理士指定研修会や市町村浄化槽台帳システムなど新たな事業を展開している協会の現状を踏まえ、今後の協会のあり方について各理事に意見を求めたところ、参加しやすい研修会開催時期の設定や、新規事業などについて幅広い意見や提案が出され活発な会議となりました。

議案については以下のとおりで全て承認され午後12時に終了しました。

第1号 令和4年度上半期事業報告

第2号 令和4年度上半期収支状況報告

第3号 会員の入退会(変更)について (第1号議案)



理事会の様子

令和4年度 市町村浄化槽行政担当者会議が開催されました

県及び市町村の浄化槽担当課、指定検査機関を対象とした会議が、8月26日及び29日の両日に地域を分けWeb会議で開催されました。

県から浄化槽整備事業などの説明があった後、県と協会の災害協定の内容を紹介するとともに、災害時における被災浄化槽の復旧に関する助成制度について説明がありました。

また、当協会の高橋義隆検査課長補佐が「法定検査の概要及び不適正の状況等」について、検査時の写真や作業動画をを用いて解説を行い、不適正と判定された場合の市町村の対応について、意見交換を行いました。



Web会議の様子

～青年部事業～ 「身近な川や水辺の健康診断」へ参加協力しました

当協会青年部では、「身近な川や水辺の健康診断」への参加協力を行っています。この調査は、美しい山形・最上川フォーラム（清流部会）が「誰でも参加できる身近な川や水路、沼など水辺の環境調査」として、県内各地で一斉に行っているものです。水質調査のバックテストや水生生物調査のサポートを通じて、子供たちへ水環境に関心をもってもらおうと、毎年青年部を中心に活動しています。

今年度の調査は小学3年生から中学1年生までの計8団体へ協力を行いました。

No.	実施日	実施団体名（調査河川）	参加人数
①	6月17日（金）	米沢市立松川小学校 4年生（松川）	52人
②	6月20日（月）	尾花沢市立福原小学校 4年生（小野尻川）	18人
③	6月22日（水）	川西町立大塚小学校 4年生（元宿川）	17人
④	6月23日（木）	酒田市立八幡小学校 4年生（日向川）	17人
⑤	7月1日（金）	寒河江市立三泉小学校 4年生（最上川）	12人
⑥	7月5日（火）	山形市立楯山小学校 3年生（高瀬川）	21人
⑦	7月15日（金）	大蔵村立大蔵中学校 1年生（最上川）	9人
⑧	9月15日（木）	村山市立大久保小学校 4年生（千座川）	12人



①米沢市立松川小学校（6月17日）



②尾花沢市立福原小学校（6月20日）

③川西町立大塚小学校（6月22日）



④酒田市立八幡小学校（6月23日）

⑤寒河江市立三泉小学校（7月1日）



⑥山形市立楯山小学校（7月5日）

⑧村山市立大久保小学校（9月15日）

生活排水処理施設普及率（令和3年度末）

	市町村名	生活排水処理施設普及率 (%)	処理人口 (百人)	処理施設別普及率 (%)			行政人口 (百人)
				下水道	農業集落排水施設等	浄化槽	
1	山形市	99.7	2,402	97.9	1.6	0.1	2,410
2	米沢市	88.3	686	65.3	0.5	22.5	777
3	鶴岡市	95.7	1,161	79.8	13.2	2.6	1,214
4	酒田市	98.6	968	79.8	15.3	3.5	982
5	新庄市	80.2	271	56.1	6.1	18.0	338
6	寒河江市	89.5	361	78.1	0.0	11.5	403
7	上山市	94.3	273	75.8	9.6	9.0	289
8	村山市	91.5	206	81.2	5.2	5.1	225
9	長井市	85.7	220	58.7	8.3	18.7	256
10	天童市	99.5	610	98.9	0.0	0.6	613
11	東根市	95.9	459	91.8	0.0	4.1	478
12	尾花沢市	85.3	126	35.9	8.5	40.8	147
13	南陽市	88.5	267	67.5	0.7	20.4	301
14	山辺町	96.8	134	95.4	0.0	1.4	138
15	中山町	99.8	108	87.4	12.3	0.1	108
16	河北町	94.6	166	88.4	2.2	4.0	175
17	西川町	86.9	42	54.0	5.2	27.8	49
18	朝日町	81.4	51	0.0	11.7	69.7	63
19	大江町	85.8	65	51.8	6.3	27.7	76
20	大石田町	99.4	64	68.2	27.2	4.0	65
21	金山町	90.1	46	40.2	20.9	29.0	51
22	最上町	73.3	58	36.0	3.6	33.6	80
23	舟形町	97.4	48	47.1	46.4	3.8	50
24	真室川町	66.5	47	25.3	0.0	41.2	71
25	大蔵村	84.8	25	57.1	0.0	27.7	30
26	鮭川村	70.8	28	0.0	40.9	29.9	39
27	戸沢村	76.8	32	12.3	41.5	23.1	41
28	高島町	91.6	205	75.4	3.6	12.6	223
29	川西町	77.6	111	38.6	6.2	32.8	142
30	小国町	76.1	53	61.1	0.0	15.0	70
31	白鷹町	88.0	114	61.6	7.9	18.6	129
32	飯豊町	90.4	60	0.0	75.8	14.6	66
33	三川町	100.0	73	65.3	34.0	0.7	73
34	庄内町	99.5	200	78.4	19.5	1.6	202
35	遊佐町	95.8	124	80.8	11.0	4.1	130
	村山地区	96.7	5,066	89.0	2.7	5.0	5,239
	最上地区	79.4	555	43.2	12.9	23.3	699
	置賜地区	87.2	1,714	61.4	5.3	20.5	1,965
	庄内地区	97.2	2,527	79.4	14.9	2.9	2,600
	県計	93.9	9,862	78.4	6.9	8.6	10,503

※農業集落排水施設等には漁業集落排水施設、簡易排水施設を含む。

※数値については、四捨五入を行ったため合計が合わないことがある。

職員研修会を行いました

11月15日に職員に対し、各種研修会を行いました。

はじめに安全運転に対する知識や意識を高めることを目的に交通安全運転講習を行いました。ユニバーサルリスクソリューション(株)の小原上席調査員から、事故が起こった場合の協会に与える損害や道路交通法の改正内容等について講演があり、続いてビデオによる危険予知トレーニングを行いました。

次に、10月1日に育児・介護休業等規程を改正したことに伴い、社会保険労務士の二宮氏から講演をいただきました。産後パパ育休（出生時育児休業）制度や育児休業を分割で取得できるようになるなど、男性の育児休業促進が図られることから職員に周知いたしました。

最後に、水質検査の精度管理について透視度とBOD値の予測に関し、全体の意識を高めるため、実技による研修を行いました。現場ではサンプル（SSの混入、色相等）や浄化槽状態（ばっ気停止、硝化進行、臭気等）など、BOD上昇に起因するポイントを押さえるとともに、測定後のBOD値をみて関連性のある判定をするよう平準化を図りました。



小原上席調査員による講演の様子



二宮社会保険労務士による講演の様子



研修の様子

第36回全国浄化槽技術研究集会に参加して

検査員 渡辺 健太郎

令和4年10月18日、19日に愛媛県松山市で開催された研究集会に3名が参加いたしました。

特別講演「未来のためのデジタルとの向き合い方」では、人口減少により生産力低下と人材確保が困難になる社会では業務のDXが必要と説かれていました。当協会でも浄化槽台帳システムの整備により、現場、バックオフィスでの生産性の向上に取り組んでいるため、業務効率を目的とした「現状の仕組みの見直しも含めたデジタル化」など、整備向上の足掛かりとなる講演内容でした。

また、静岡県富士市からの「特定単独処理浄化槽に対する措置の周知及び法定検査受検促進について」、受検率向上のための専用窓口設置、DMによる一斉案内などを行っているとの内容でしたが、特に注目すべき事は、自治体の富士市が行っているという事です。富士市がこれらの施策を実施する上で最も重要になるのが「浄化槽台帳システム」の整備であり、未受検対策や休止・廃止・管理者変更等がシームレスに管理ができ、省人化や受検率向上に繋がるのではないかと推察しました。

研究発表での着目すべき事項としては、AIを駆使したシステム開発として「深層学習による定点カメラ画像から浄化槽の処理状況を予測する技術の開発」と題して発表されたことです。浄化槽分野にもAIの研究が入り、まさに「未来のためのデジタルとの向き合い方」を考えさせられました。

2日間を通して、現場、バックオフィスでの生産性の向上に取り組む上で、今後の業務向上に繋がる有意義な集会でした。



叙 勲

永年にわたる一般廃棄物処理事業及び浄化槽清掃業務等に精励された功績により、当協会から遠藤信幸氏が叙勲を受章されました。叙勲受章を改めてお祝い申し上げます。

遠 藤 信 幸 氏(前会長) 旭日双光章受章

令和4年秋の叙勲において、前会長の遠藤信幸氏が旭日双光章を受章されました。

遠藤氏は、昭和49年に(有)厚生社に入社し、浄化槽維持管理業及び一般廃棄物処理事業に携わり、代表取締役として現在に至ります。

昭和54年4月には前身の社団法人山形県水質管理技術振興協会の監事に就任以後、委員会委員、理事を歴任。平成24年からは会長を就任し、令和3年6月まで長きにわたり協会の発展にご尽力いただきました。

なお、勲章の伝達式は、令和4年11月8日に山形県郷土館「文翔館」議事ホールにて執り行われました。



表 彰

青 山 武 氏(副会長) 令和4年度環境省環境再生・資源循環局長表彰

片 桐 健 悦 氏(会 長) 令和4年度保健衛生関係功労者山形県知事表彰

協会からのお知らせ

変 更	会員区分	新旧	氏 名	事業所名	住 所
	正会員	新	森 谷 昌 弘	株式会社モリヤ	東根市大字東根甲 5996
		旧	森 谷 重 美		

新規採用職員の紹介



検査課 佐野 順 一

令和4年9月1日よりお世話になっております佐野順一と申します。分からない事ばかりで、日々先輩方にご指導いただいております。休日は子供2人のサッカー観戦や美味しいもの探しでリフレッシュしています。いち早く協会の戦力になれるように取り組んでまいりますので宜しくお願い致します。

編集後記

令和5年、今年は卯どしです。うさぎは穏やかで温厚な性質であることから「家内安全」。また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれており、新しいことに挑戦するのに最適な年といわれています。うさぎのように跳ねて、飛躍的な一年になることを祈念いたします。